十一日夕刊

磐城每日新聞

□定價一ヶ月　金六十錢
□郵稅　金十五錢
□一部賣　金二錢
□廣告料一行　金六十錢
□特別欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城每日新聞社
發行編輯兼印刷人　森合英

いつはりのなき世なりせばいかばかり人の心の嬉しからまし（古今集）

閼伽井嵐

醫者の問題

木下雁次

平市内の醫師が居留守を使つて患者の診察を斷つた事が問題となり遂に四名の醫師が醫師法違反に問はれて送局される事になつた。

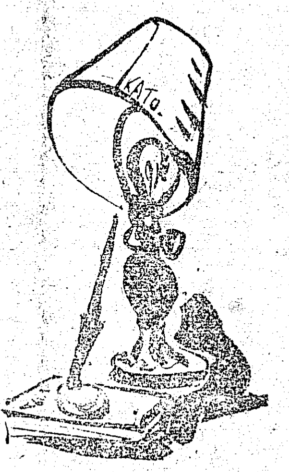
事件は極めて簡單なやうであるが、平市内の醫師が、夜間往診を斷るといふ噂は久しい前から問題となり、市常會にも問題とされた事があつた。その他醫師の不親切や不道德に就いては平市に限らず各都市で街の話題として非難攻撃の的となつてゐる。

從つて今回の警察のとつた處置に對し當然の事として喝采を送つた市民も少くないやうであるが、吾人はこれを單なる一時的の感情滿足の問題としてのみ見過ごすべきではない。

醫師は平生先生といはれ、生活に餘裕があるの故を以て餘程の修養のない限り尊大自負の態度に陷り易い。しかも彼等は或程度迄結構それで世の中が通れるのである。こゝに彼等の世間から非難される様な過誤を犯し易い原因がある。吾人は今回の當局の摘發に依つていくらかでも彼等が反省自肅する所があるならば幸甚とする所である。

しかし一方一般人も此機會に多少反省する要がありはしないだらうか。醫者のいふ所に依れば問題になつたやうな夜間往診を乞ふ患者は方々へ電話をかけるので折角自分が出掛けて行くと別な醫者が來てゐるといふ場合に遭遇することもあり、翌朝往つて見ると自分が主治醫の立場でない事もある。それに醫者も職業ではあるが料金の未納は他の職業のやうに無理にはとれぬ事情にある。又醫者といへども木佛金佛でない以上病氣もするし手術の後では疲勞もする休養の時間もほしい。然るに現在の醫者は患者が多いばかりでなく種々の報告事務が多く、過勞に陷つてゐる。現に二日の如きも三日がその報告日となつてゐたといふのである。

時局柄醫師の反省すべきは勿論であるが一般人も一時的の感情論で醫師を攻擊すべきでなく、醫師の立場をも少しく考へてやる必要がある。醫者だから散步してゐるのもいけない、映畫を觀る時間を持つ事もいけないといふやうな物のいひ方は無理であらう、一般人と同じく自分の趣味にも生きたいだらうし、多忙なら多忙な程休養するための自分の時間もほしいと思ふのが人情だらう。



踏破六百里

……櫛田彦之進氏による……

岩崎敏夫

（八）

翌六日は關ケ原を見滋賀縣に入つて大津に行く。此處には、もと牛井部長の世話された志賀乘馬會なるものがあり、双川警察部長以下の出迎へを受け、同會に宿泊した。滋賀縣に於ける厚いもてなしには特に感銘深いものがあつた。

山科を經て京都を通過。こゝでは特別の詮議によつて御所の拜觀を許された。

高槻に宿る。何時頃であつたか、あわたゞしく入つて來た憲兵に種々訊問を受けた。樣子が變なのでだん〴〵聞いて見ると、この日廢兵の樣なのが二人、旅宿を强要したとかで馬丁と私との二人が怪まれたといふわけ。後で憲兵隊を訪ねようと思つてゐた所でこれは丁度よいと、訪問は取止めて、その場で憲兵に萬事を依賴し、大阪の憲兵隊に連絡をつけて貰ふことにした。

大阪では偕行社に泊められて、朝早く豐國神社に詣でゝ祈願をこめ、阪神國道を神戸に進む途中湊川神社に參拜。嗚呼忠臣の墓を感慨深く拜んだ。須磨、明石を經てこの夜は加古川に宿る。此處より少し横道にそれて、尾上高砂の兩神社に詣づ姫路の白鷺城を參觀こゝにはお菊の井戸が殘つてゐるが、內側の石垣の間から、相當太い櫻が生出てゐるのを不思議に感じた。十一月十五日には赤穗の忠士をしのぶためまた横道に入り、鷹取峠を越えて赤穗町に出、舊城內大石神社に詣でる。所が赤穗を出たまではよかつたがどこからか道に迷ひ、暗くはなる、地圖は見えなくなる、それでも漸く、夕方おそく片上町にたどり着くことが出來た。

斷水

（二）

玄々生

或る事情で延びてゐたソクラテスの死刑が今日ときまつた日の朝訣別のために知友門弟が打連れて牢屋にソクラテスを訪ねた。彼等はそこにいつにかはらぬ彼を見出した。ソクラテスは久しい足の鐵鎖を解かれたばかりで床の上に腰を下してゐた。彼は身を屈して足をさすつた。足をさすりつゝ彼は口を開いて面白いことを言つた。

「快感といふものは何といふ不思議なものだ苦痛とそれはまたいかにも奇しく結ばれてゐる。この二つのものは相反するものと考へられるし、又同時には經驗できないものだ。然しどちらを求めても大概人は今一つのものを無理に取らされるのだ言て見ればこの兩者はからだは別々だが一つ頭に括られてゐるのだ。そこでイソツプがこれに氣がついてゐたら彼は神樣は二人を仲直りさせようとやつて見てうまく行かぬのに手を燒いて二人の頭を一つにくつゝけてしまつたのだとお手のものゝ寓話にまとめあげたことであらう。私も今經驗して知つてゐるのだ長いこと足の鎖で辛い思ひをしたが、どうやら樂になれさうだ。」

この一節を想起したのであつた。考へて見ればかうしたソクラテス一流の諧謔とも眞劍ともつかぬ鋭い言葉には私は幾度その折々の氣持を救はれてゐることであらう。今の場合それはいさゝか牛刀のやうでもあるので苦笑を禁じ得ぬのであるが。

八月五日

「詩」

『南アルプスの朝』

草野咲平

霧たち迷ふ山狹の
落葉松の森ほの暗く
殘月淡く止まりぬ

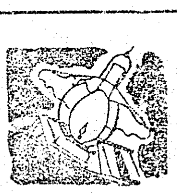
遙かに望む大空の
雲くれなゐに輝きて
山美しく明けそめぬ

姫百合にほふ小流に
彼方仰ぎてたゞづめば
大氣靜かに迫り來ぬ

水禍抄

（野菊會）　遠藤無聲

ひきし汚物掃除の腐々し
炎天や出水の後の疊干し
干蒲團疊む夕べや蟬の聲



異人劍法（いじんけんぽう）【52】

（[illegible]上映）

車谷弘

下山望東畫

渦潮（三）

いつか機嫌をなほして、無心に遊び戲れる子供達を、好もしさうに眺めながら、浪人者は立ちつくした。兩手にビクと釣竿を提げながら、いつまでも水際を立去らうとしないのである。

『ちえつ、面白くもねえ』

と鼻白む勘太に、

『まア、さう怒るな、お前も機嫌をなほすがいゝ』

と浪人は微笑して、

『怒りつぽい奴だな、何がそんなに氣に喰はぬのだ』

『何もかもだ』

とぶつきら棒に、

『先生、先生も親分の家に草鞋を脱いたんだ少しやア大浦一家のために身を入れておくんなさい。いつたいのん氣すぎますぜ先生は…此間の一件を、先生は知らないんですかい』

『聞いてゐる』

と歩き出すのへ、

『聞いてゐたら先生、ちつたアこちとらの話にも耳を貸してくれたつていゝぢやアねえかねえ長谷先生……』

あわてゝ後を追ひかける勘太に浪人者は返事さへしなかつた。

長谷と呼ばれた浪人こそ、まぎれもない長谷新九郎であつた。

水戶の高橋多一郎の密命を受けて、黑船隱密の役目を帶び、はる〴〵伊豆の下田へ潛入した新九郎は先づ町の親分大浦の岩太郎の家に草鞋をぬいだ。

黑船來る〳〵ーへや攘夷黨の浪士の群が、續々下田港を目ざして集まるので、浪人の取締りは意外な位きびしかつた。新九郎は幕吏の眼をくらますために博徒の用心棒に身を落したのである。

身持ち放埒な、手のつけられぬやくざ浪人市井の無頼漢……。

これが長谷新九郎の世を忍ぶ假の姿であつた。

大浦の家にごろ〳〵してゐて賭場が開かれた時だけ、お役目に見張をつとめてゐるのである。岩太郎は町の役人に、それ〴〵つけとどけもちやんと行き屆いてゐたから、誰も新九郎を怪しむ者はなかつた。

彼理の黑船艦隊が入港すると新九郎は毎日のやうに釣竿を肩にして、悠々と港のまはりを徘徊した。そして事あらば、ひそかに水戶へ飛脚をはなしてゐたのだが、彼理の去つた後までもその癖がついて殘つた。いや、さうしなければ可怪しいのだ。

しかし此頃の所在なさに、やはり想ひ浮んでくるのは、初音の忘れかねる面影だつた。

（どうしてゐるか）

と想ふにつけ、己の今の境涯が味氣なく省みられた。

たつた今も、水に戲れる子供達に、ふと見とれた感慨も、隣同士の幼馴染を、心にかけてゐるからなのだ。

勘太は、そんな新九郎の心は夢にも知らず

『ねえ、先生、云はゞ俺等の恥だから、こんな事ア云ひたくねえがあの時だつて、先生さへゐてくれたら、あんな赤恥はかきやアしねえんだ。あの旅商人め見つけ次第叩きのめしてくれなけりやア……』

『話にきくと、なか〳〵手强い男と見えるな、それで、そいつの居所は分つたか』

『さアそれが何處の牛の骨だか未だに住居が分らねえ、分らねえから口惜いんだ、分りさへすりやアあの野郞、どうして只はおかねえんだ、ねえ先生、先生もちつたア口惜がつておくんなさいよ。乘氣になつて、力を貸しておくんなさいよ』

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大國町　電話323番

小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
御會食御商談に
御利用を……
味の店
寶來

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店　平市二丁目　電話635（呼）

外科　整形　胃腸　性病
內科　腦外科　脊髓病科　外科
整形外科　レントゲン科　理學療法科
內科　胃腸病科　肛門病科
花柳病科　皮膚病科　泌尿器科
醫學博士　松村亨
醫學得業士　松村鐵郎
松村醫院
平市南町　電一〇七

平市[illegible]　電話六八番
吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町　鵜沼孝昌

產科、婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九
（見習看護婦入用）

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

御會食に
御商談に
割烹
幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

小名濱町中島通
口腔外科
齒科一般
レントゲン科
門馬齒科醫院
院長　門馬忠男

內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
平市大町　電話七九番
內木外科醫院
醫學博士　內木宗八

平病院（元共濟病院跡）（電話四一番）
內科、小兒科
レントゲン科
物理的療法科
院長　醫學博士　鈴木定藏
院長　鈴木定藏
內臟一般外科　副院長　高橋俊幸
皮膚泌尿器科
藥劑部長　吉本幸平
每日午前八時より午後九時まで夜間診察に應じます
急患は此の限りにあらず

食事
喫茶
酒場
サロン
營業時間
○開店…午前十時より
○御飯は夜九時までに御願致します
○閉店…午後十一時限り
平市銀座街　電話五九二番

外科一般、內臟外科
性病科、肛門病科
▽入院應需△
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）
木村淳
電話三〇九番

大衆向きの小口保險
三百圓より大口契約も
好條件で外交員募る
板谷生命保險株式會社
小名濱代理店　比佐政種

產科、婦人科
根本醫院
平市南町　電話三四番

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村醫院外科部（平市南町）
松村外科
醫學博士　松村亨

國難克復祈願

皇大神宮參拜會 團体募集

一、期日　昭和十七年三月、拾月春秋、數回

一、行程　六日間、汽車一泊、旅館四泊

一、會費　金五拾八圓也

但し第一回申込金八圓也、第二回目より最終迄直接本部へ郵便振替ニテ拂ひ込ム事

一、日程

第一日…集合地　午後一時宮城前廣場…宮城遙拜…明治神宮…靖國神社參拜…晩食後東京驛出發

第二日…龜山にて辨當…午前九時過山田着…外宮內宮參拜…大神樂奉奏…晝食後二見浦見物…旅館宿泊

第三日…午前七時三十分宇治山田驛發…畝傍御陵前へ…御陵…橿原神宮參拜…橿原神宮驛前にて晝食…後一時發…奈良着後奈良見物（春日神社、大佛、鹿寄せ）旅館宿泊

第四日…午前七時奈良發…桃山御陵…乃木神社參拜京都へ…驛前にて晝食後京都見物…旅館宿泊

第五日…午前十時まで自由行動…午前十一時京都驛發名古屋へ…大津にて辨當…午後二時半名古屋着…熱田神宮參拜…名古屋城見學…旅館宿泊

第六日…午前六時名古屋驛發東京へ…沼津にて辨當午後二時半東京着後解散

注意

出發地より集合地までの汽車賃辨當は自辨の事

但日程、時間等は鐵道省の都合により多少變更あるやも知れざるにより豫め御承知置き願ひます

◎汽車、電車、自動車、宿泊料一切を含む、醫師及看護婦隨行

◎本會ノ趣旨書ハ申込所ヨリ御持參ヲ乞フ

特典

一、參拜出發の節は本會理事有爵者附添ひ監督下さいます

一、皇大神宮、明治神宮の御守札を拜受し會員個々に頒布します

一、記念品として有爵者の揮毫になる肉筆の額、或は掛軸一品宛差上ます

一、戰歿將士の御遺族には帝展入選畫の揮毫になる作品も差上げます又出征家族には別に記念の書額を差上ます

主催　日勝會　皇大神宮參拜會

東京市赤坂區新町五丁目四十三番地
振替口座東京三一五六番
電話赤坂（48）三八七七番

顧問　子爵　北小路資武
顧問　子爵　宇野正志
理事　子爵　有馬聰頼
理事　子爵　大久保忠春
常務理事　松室仁賀
會長　陸軍中將　兩角三郎

福島縣內石城郡外務主任　佐藤陽侍　平市古鍛冶町　電（呼）五一二

申込所
新川町　田中宣治　電五六七
一丁目　和久井屋漆器店　電四〇五
三田小路　一の井　電一六七

警視廳警察官採用

採用人員　二千名

資格　滿二十歳以上四十歳未滿

試驗　作文、國語、算術ノ簡單ナル考査【甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者陸軍海軍ノ下士以上、下士適任證書ヲ有スル者ハ筆記試驗ヲ免除ス】

待遇　教習中四十圓給與　卒業後初任月收七十圓以上、被服官給　軍隊トノ恩給通算、判任官待遇【採用者ニハ試驗地ヨリ東京マデノ旅費ヲ支給ス】

受驗手續　試驗當日、志願書履歷書ヲ試驗場ニ携帶ノコト
◎詳細ハ當練習所、最寄警察署、警察練習所、職業指導所ニ照會ノコト

試驗期日及び場所
八月十八日　福島警察練習所
八月十七日　郡山警察署
八月十六日　平警察署

……何レモ午前九時開始……

東京市芝區田村町六ノ九ノ二
警視廳警察練習所

嗚呼、吉田班長

平警防團葬嚴肅裡に執行

去る廿三日の風水害に非常召集され・危險に瀕した九大夫橋の流失を警護中、橋梁諸共濁流に呑まれて殉職遂げた平警防團第三分團副班長吉田秀一氏は班長に昇進し、今十一日午後一時から第四國民學校に於て平警防團最初の團葬を嚴肅裡に執行、殉難の靈に酬へた

殉難の靈、瞑せよ

立錐の餘地なき盛葬

平警防團第三分團班長故吉田秀一氏の團葬は全團員出席、團長關內正一氏祭主、副團長鈴木源七郎氏葬儀委員長の下に佛式に依つて執行、市長代理伊藤助役、市會議員鄉軍代表、青壯年隊幹部、愛婦、國婦婦人團代表並に第四校兒童等第四校講堂に立錐の余地無い程多數參列、定刻鈴木委員長、開式の辭を述べ一同起立して佛壇に禮拜、僧侶の讀經あり關內團長故人の功績を稱讚言々句々參列者の肺腑を突く別項の祭文を朗讀

遺族席からすゝり泣きの聲が洩れる、次いで遺族燒香、縣警防協會長代理谷津警部の弔詞並に市長、市會議長其の他各團体の弔詞と大日本警防協會長豊田內相初め各方面の弔電披露、一同禮拜、終つて祭主關內團長警防團葬執行について懇ろな挨拶を述べ遺族の挨拶があつて盛葬を了へ遺骨は仝中平窪の菩提寺常勝院へ埋葬した

祭文

本日茲に、故平警防團第三分團班長吉田秀一君の警防團葬を執行するに當り謹而靈前に白す

君は明治卅五年一月一日赤井村高萩に生れ長じて吉田家の人となり農を以て業となす大正十年三月消防組員を拜命、昭和十五年九月副班長に推され爾來職を奉ずる茲に二十余年の久しきに及べり君資性温良事に臨んで果敢加ふるに体軀强健實に警防團員の最高任者として夙に同僚の敬愛する所たり、抑々吾等職を警防に奉ずるもの警報一度傳るや疾風の結束迅雷の行動を以つて分秒を貴び現場に臨み猛火水禍の危險を冒し死生を忘れて力戰奮闘災害を鎮壓防止するを以て任とす

偶々去月廿二日連日の豪雨は終ひに各河川の氾濫を來たし刻々危險に瀕したるを以て君は豪雨を冒し警鐘を亂打し團員を召集久太夫橋の警備につき、死力を盡して流木排除作業中力つき終に激流に呑まる僚友の叫喚救助の術なく空しく君が貴き職に殉ずるの狀を見守るのみ、無念言ふばかりなし、嗚呼悲しい哉、嗚呼痛ましい哉、今や未曾有の重大時局に際會し君の如き卓越せる警防人を必要とするや愈々切なるの秋、君を失ふ悲愁何ぞ堪へん然りと雖も死生もと二つなし、君が父性愛は永く天地の際にとゞまりて遺兒を護らん君が公に殉ぜし崇高なる精神は齊しく萬人渴仰する所ならん、君又以て瞑すべきなり、茲に警防團葬を以て告別するに方り衷心の至情を披瀝して在天の英靈に告ぐ、尙くば饗けよ

平警防團長　關內正一

働き手を失ひ氣の毒な遺族

弔慰金二千五百圓贈る

別項、殉職警防團員吉田秀一氏は平市中平窪字横枕八四の五番地で農業を營み、大正十年消防組員拜命、警防團改組と同時に大正十五年第三分團副班長に任命され、家業に勵む一方警防事業に深い理解を以つて盡瘁した模範團員で遺族は父吉田卯三郎(六二)母シヤ(六六)妻ハナ(三三)次男弘文(一六)三男正明(一二)四男繼男(四)五男光男(六)長女昭子(一四)の八人暮しで老父母と五人の子供を抱へ働き手を失つた妻女ハナさんは全部落民から同情されてゐる

弔慰金二千五百圓

平市では過般の急施市會へ弔祭料百圓及家族扶助料五百圓提案可決しその他△六百圓、大日本警防協會△七百五十圓、縣警防協會△二百五十圓、平管內警防團員△百圓、平警防後援會△百圓、平警防團

合計二千五百圓の弔慰金を贈つて不幸な家族を弔問することになつた

常磐線全通

十七日目で單線復舊

水害で去る二十三日來不通となつてゐた常磐線佐貫—藤代間は昨十日午前十時二十分實に十八日目でやつと單線復舊、このため常磐線は全部開通し不便な水戶線經由上野行きは開消した、なほ當日は下り午前〇時卅分上野發午前六時三十分上り富岡行き列車から運轉解始した

小山廻り東北線の殺人的混雜も同時に漸く解決された

歸鄕で寄附

小名濱町古港伊藤義松氏は歸鄕となつたので金二十圓を町銃後奉公會へ

『應召の氣持』で着任

新市長十五日着任

市會滿場一致で二代目平市長に推薦された猪瀨乙彥大佐は野崎、蓮沼正副議長、伊藤助役の訪問を受け、正式に市長就任を快諾捺印を了し十五日午前九時十分上野發、同午後一時五十七分平驛着列車で單身着任するが、市長受諾の心境を次の如く語る

自分は平市會の純情に感激して御引受けしたが、引受けた以上は應召の氣持ちで職務に當る決心である、平市は東北の新興都市で之からやるべき仕事は澤山あると思ふが、平市は自分の鄕里であり、先輩知人も多い事だから萬事好都合であらう幸ひ健康狀態もよし平市民の爲國家の爲め、粉骨碎身銃後の御奉公を勵みたいと思ふ

着任後の日程

別項、十五日着任する猪瀨市長は直ちに八幡宮、子鍬倉兩縣社に參拜市長就任の奉告終つて市會議事堂に吏員一同集め着任の挨拶をなし次いで市內官公衙を巡つて新任の挨拶をなし翌十六日は市長として公會堂の小幡上等兵の市葬に臨み十七日伊藤助役との間に事務の引繼、十八日出縣挨拶一旦歸京殘務整理の上廿五日頃改めて來平する豫定となつてゐる

野崎氏植物の分類指導

國民學校の敎育上自然觀察は極めて重要視されて居り、各學校は學校園等を利用して實施しつゝあるが、双葉郡廣野國民學校では昨十日平市植物研究家野崎順氏を招聘校庭の植樹及び園養せられてゐる植物に正しき種名を附し、且つ同校敎員は野崎氏と共に附近山野に植物の採集を行ひ野崎氏植物分類についての實地指導を受けた

講演と映畫

縣では十二日から次の日割で時局講演と映畫會を開催する（何れも午後七時から）△十二日、湯本町△十三日、平市公會堂△十四日、草野村△十五日、四ツ倉町

晩秋の冷風

百姓さんも吐息

○…立秋に入つたとは云へ餘りの涼しさに地方民を驚かしてゐる昨今の天候にドン〳〵水銀柱も縮んで農試神谷分場の觀測に依ると（十日午前十時から翌十一日午前十時まで）最低十五度八分、平均十九度一分平年の平均三十度內外に比較すると實に十度以下も低い譯で丁度九月下旬ごろの涼しい陽氣である、

○…この變体氣温は北方オホツク海方面にある高氣壓から冷めたい北風を吹颪すからで近年一寸珍らしい現象であり發育期にある水稻は勿論一般農作物も發育が阻止されることになり、お百姓さん達は打續く天候不順に打ちしほれ、カラリと晴れる日を念じてゐる、

乾草增產

今日共進會

石城畜產馬組合主催乾草增產共進會は郡內各町村乾草增產指導員が參集、今十一日午前八時から平市團体事務所に開催

た

日本肥料

新役員就任挨拶

日本水素工業では先般日曹より日本肥料に肩替りとなつたが、九日午後日肥常務理事長澤一夫氏總務課長越田覺造氏は日曹土屋常務日素竹上工場長の案內で役場を訪問し日曹工場擔當として就任したからと挨拶した

"吾が鄕土觀"

田町青壯年講演聽く

平市田町青壯年隊の第三回常會は昨十日午後七時半から藤田女學校で開催、役員改選並に勤勞奉仕作業等について報告の後、八時から磐女教諭鈴木光四郎先生の『吾が鄕土觀』と題する講演があり、區民百余名出席

二千六百年の古い歷史を有する磐城史から說き起し磐城氏と德尼御前鳥井公の平城築城史、內藤公の治績、井上公、安藤信正公の政治、外交史など約二時間に亘つて鄕土を語り聽衆一同深い感銘を與へ

馬匹救助で表彰

發見の唯野さんも感激

平署では今十一日平市堤の內二十三番地深谷亥三郎さん(三六)を馬匹救助で金一封をそへ表彰した

同氏は去る二十三日午前七時ごろ折柄の洪水で新川町唯野清さん(三三)が片倉製絲工場附近で溺死せんとしてゐる市內才槌小路金田さん方馬匹を發見したが唯野さんは不自由な身なので救助にも行けずにゐるのを濁流に飛込んで約三百五十米も押流された馬を救つたものである

なほ唯野さんは深谷氏の行爲に感激平署を通じ金一封を贈つた

衞生と榮養

鎌田區內會講演

平市鎌田町衞生區では今十一日午後七時から同區內熊野神社に平保健所西口、姥原兩衞生技手を招き衞生、榮養講話會を開催する

昇段免許

四倉管內發表

過般四倉町磐城セメント會社武德場に行なはれた弓道審査會の成績が發表せられたが四倉署管內の關係者次の如く姉妹揃つて入賞した銃後女性もある

【一級】猪狩傳(大浦)木村泰夫(磐中生四倉)

【初段】宮澤トミ(四倉)宮澤チカ子(四倉)小林友睿(セメント)

【二段】薗部謙(大浦)岡田鶴吉(セメント)大和田政重(四倉)高木理重(セメント)

翼贊商道語る

—商報隊・文協座談會—（3）

企業合同問題

全業種別統合は事實上困難

文協N、物品が不足してゐるため品が惡くとも抱合せられても一般に買ふ傾向がある斯ふした客の心理につけ込む惡どい商人にかゝると酷い目に遭ふ

商報V、直接扱ふ人さへ眞面目にやつてくれゝばよいのだが、不正などは商業報國精神でお互是正すべきでせう

文協W、何商賣でも企業合同になるか

商報Y、米屋が儲かると云ふ例から盛んに考へられてゐるが何でも企業合同は出來ないでせう、砂糖屋さんは不完全合同をやつてゐるやうです

文協M、不完全合同とはどんなことです

商報Y、全面的な企業合同に至らず共同販賣所を設置し利益は組合員に分配する合同組織です、數種別に凡ての企業合同が行なければならぬ、二十品目販賣してゐる店は廿組合に出資せねばならない、それでは拂込み金で業者が參る、その負擔を輕くしようと云ふのが今度出來た一本建ての地區組合です

文協N、地區組合が出來ても舊体の組合形式が依然として殘存してゐるのではないか、假令ば部門の中に班などある場合業態の違ふ集りで不便が多い、その爲昔のまゝ班を單位として組合費を負擔し連繫を保つてゐるやうに聞く、これでは結局と地區へ入つただけ經費を二重に負擔することにならぬか

商報V、經費の問題は隨所で聞くが、業種に依つて利益の多いのと尠ない部門があり、甲部門の經費を乙部門で流用されては……と云ふ心配も生れる、然しこの點は劃然とされるやうな組織になつてゐるから心配はない

【注、質問の要點に喰ひ違ひあるやうですがそのまゝ揭載】

地區商組の配給品は統制されてゐる物品だけで、自由商品はまだ多いから全面的な物品の配給には至らない

商人と文化運動

司會者、地區組合が軌道に乘ると感謝報國の愛國運動を起さねばならぬ、祖國を愛する者は鄕土を愛せねばならないと思ふ この意味で商人も結局文化運動を行ふまでに進むべきでせう 商人と文化運動について御意見を伺ひたいと思ひます

文協M、今までの商業は、相馬方面へ賣り込むと高く賣れるから……と市內は品不足に惱んでゐることを明かに知りながら利潤の多い相馬方面へ品物を流すと云ふ狀態だつた、その利潤第一主義を放棄して鄕土平市のために物品を捌く、これが一つの文化運動であり鄕土に盡す所以だと思ふ、繰返すやうだが國家に基礎を置く經濟体制に變へて行くことでせう

商報V、愛國運動の一つとして全市民に縣社に對する關心を持たせることゝ云ひ換へれば氏子である市民をしてもつと〳〵尊崇の念を深からしめる運動が必要でないでせうか、私達は毎月三日拂曉を選んで縣社へ參拜し、境內を淸掃してゐますが、全町民一致して斯ふした敬神運動を行ふことに依つて商人の背德的行爲など全く除去出來ると思ふ。

お斷り

商業報國隊は解散し靑壯年隊に吸集されてゐるのに『商報隊を用ひることはどうした譯か？と御叱責を受けましたが、平商業報國會の靑年隊は解散して靑壯年隊に包容されたが舊廣告硏究會を改稱した『商業報國隊』のメンバーはそのまゝ存置されて居りますから御參考までにM生へお傳へ致します但し近い將來靑壯年隊の商業部へ合流される機運に向ふことでせう

おちのよい
マルミ粉石鹸
平市材木町
製造元マルミ[illegible]

靴下配給

八千六百足

平市では國民學校兒童用靴下七百二十三ダース(八千六百七十六足)を配給することになり今十一日市內各學校へ配給切符を送附した

小名濱常會

今日の提案事項

小名濱町月例大政翼贊會町常會は十一日役場に開催するが提案は左の通りである

◇傳達一號、水害對策に關する件△二號、冠婚葬祭の實行事項申合の件△三號、金屬類賣却の件

◇報告一號、國民貯蓄組合結成狀況△二號、水道申込の件

◇協議案一號、七分搗白米見本の件△二號、消火栓の件△三號、の燃性建築物の件△四號、防空壕構築の件△五號、隣組員の隣組員規約無視の件

兒童隣組

學藝會盛況

四倉町第三區第一隣組の兒童組では昨十日午後六時半より本町青年會館に同隣組家庭慰安の夕と題して小學藝會を開催したが盛會であつた

巡査試驗

受驗者八名

平署巡査採用試驗は昨十日午前九時から同署會議室に開いたが受驗者八名であつた

謝禮金寄附

赤井村大字大倉佐藤アイさん(六一)は拾得御禮金五圓を今十一日平署を通じ國防獻金した

榮養講習會

四倉町では縣衞生課の指導を受け榮養料理講習會を今十一日より十三日まで三日間毎日午前九時より國民學校內に開催するが講師は縣衞生課より出張した

天候恢復

念佛祈念

本年の梅雨入りより土用明けての惡天候に對し四倉町の念佛講中連は毎日午後三時より妙見尊堂內に集合して天氣恢復念佛を行なつてゐるが今夏の惡天候と寒冷は七十翁等も覺えが無い氣候であると言つてゐる

有名文士來平

文藝銃後運動

廿五日講演と座談會

大衆と胸襟を開いて語り、お互ひに國難突破の覺悟を固めようとして全國に講演行脚を試みてゐる文藝銃後運動の近縣班が愈々來る廿五日平市に乘り込んで來る事になつた、講師は高田保、齋藤劉、木々高太郎の三氏で場所は公會堂となる豫定である、一行は廿五日の午前十一時の汽車で來平するので磐城文化協會では大政翼贊會文化部の慫慂に依り同日の講演會に先立ち講師達と座談會を開く計畫をすゝめてゐる

心光寺

徹底的改築

小名濱町定西、淨土宗心光寺は類燒甚しく、これが復興の大任を帶びて赴任した鈴木住職の下に檀下一同は、この機會に寺院の改築を斷行すべく委員長に町助役高木保氏を推戴しこれが設計も既に成り縣へ認可申請中にあるが、その建築內容は地方的にも類例を見ない廣壯なもので總工費は五萬七千八百圓を計上してゐる

本堂は間口八間奧行七間位牌堂、內庫、集會場及び圖書館を設け鈴木住職及び高木助役の秘藏書を提供する筈で檀下一同もこれが復興には大乘氣となつてゐる

鹽引配給

明日三百箱

鮮魚類の不漁に惱まされてゐる最近鹽引の入荷相次ぎ台所を喜ばしてゐるが、平海產物配給所に十二貫匁入れ三百箱入荷明十二日午前八時から小賣店へ配給することになつた

小賣の市價は頭つき三十三錢に決つた

簡便化した

酒特配

酒屋へ用紙あり

平稅務署では希望に應じ冠婚葬祭其他用の酒類特配することゝなつてゐるが手續を關係のためか最近申込みが槪して尠ないので一般の便宜を圖つて酒類販賣店へ申込み書類を備へて置くことになつた

必要の家庭は手近な酒屋さんから屆用紙を貰つて市役所へ屆けると許可證が貰へる

瀧田上等兵

壯烈な戰士公電

市內鎌田町出身上等兵瀧田由藏君は去る三月卅一日湖北省〇〇で敗殘兵掃盪の激戰中左胸部貫通銃創と前頭部に手榴彈破片創を受け壯烈な名譽の戰死を遂げた旨市役所へ公電があつた

小幡上等兵

十六日市葬執行

平市新町出身故小幡桂三上等兵の市葬は十六日午後一時から公會堂に執行と決定

商況

（十一日）

【野菜】小賣値百匁

キウリ	九、錢
ナス	八、錢
南瓜	八、錢
玉ネギ・	四、五錢
ズイキ	三、錢
馬鈴薯	四、錢

【鮮魚】小賣値

スズキ	五五、〇
ホツキ	三五、〇

天氣豫報

今晚　北東の風曇りですが所によつては俄雨がありませう

明日　北東の風後南東の風同じ

（十二日）

滿潮　前六、五三　後六、三三
干潮　前一、五三　後一、〇〇

平市慶弔錄

【婚姻】△東京市澁谷區代々木新町七十二番地中島榮吉(三六)さんと平市字梅香町八十五番地永山民子(三九)さん△平市字古鍛冶町四番地眞田眞秋(三一)さんと石川郡澤田村大字澤井字猫石一番地樋口ミツ(三七)さん

【出生】平市字一町目二十七番地椿家哲之助二男修さん

【死亡】平市字研町一四番地稻葉正晉(一)さん

大塚の—
靴と運動具、樂器
自製靴各種
野球用具　庭球用具　競技用具　卓球用具　登山用具　体育用具
各種運動服裝　ハーモニカ　手風琴
團旗、優勝旗
各種豊富に揃つて居ます
御用は　大塚へ
平市田町銀座通　電話七十七番

公債、債券
質物一般
三井質店
平市四丁目裏通り　電六〇六番
太陽生命　豊國火災　平代理店

大の削節
冷凍魚、鯨肉、ハム ソーセーヂ
海苔、鰹節、其他食糧品
新鰹節賣出し
日本水產特約
ヒノマル食品店
平市三丁目　電話三三八番

看護婦數名募集
高柳醫院
醫學博士　高柳博明
平驛前　電三三六

乘合 貸切 [illegible]車御案內
乘合區間平、夏井間、平發午前七時午前九時、午後一時、午後四時の四回
貸切馬車
は新体制下に於ける乘り心地よき快適な仕立
運行は朝の六時から夜間は十時まで料金市內七十五錢、市外四キロ一圓五十錢一キロを增す毎に一圓增
大河原トラック部
同　乘合馬車部
平市大町　電五七六